

**第一に、学校教育の
施策について申し上げます。**

学校教育においては、子どもたち一人一人に「確かな学力」を身につけさせ、「豊かな心」と「健やかな体」を育むとともに、地域に開かれた「信頼される学校づくり」を進めることが大切であると考えます。また、各学校では、新学習指導要領に基づき、特色ある取り組みが積極的に行われています。

我が国の子どもたちの学力は、国際的な調査結果から見て低下傾向にあり、読解力の低下や学習意欲・学習習慣が身につけていないなどの課題も明らかになっておりますことから、子どもたちに基礎・基本をしっかりと身につけさせるとともに、学ぶ意欲や自ら考え主体的に判断するなどの「確

かな学力」を育むことが重要と考えます。個に応じたきめ細かな指導の充実や、発展的な学習のため、幌延小学校が平成15、16年度の2年間にわたり取り組んできた「学力向上フロンティア事業」の成果や、幌延町教育研究所の研究成果、また、留萌教育局の学校訪問による指導助言などを生かし、「確かな学力」の育成に努めます。

次に、「豊かな心」の



平成16年度 幌延小学校入学式

育成には、学校、家庭、地域社会が一体となって、善悪の判断などの規範意識や倫理観と、公共心や他人を思いやる心などの豊かな人間性や社会性を子どもたちに育むため、道徳教育の充実、奉仕・体験活動や読書活動の推進を支援します。

さらに、子どもたちの「健やかな体」を育むため、体育の授業の一層の充実、部活動の振興などに取り組むとともに、学校給食の円滑な実施や食育の推進に努めます。このほか、障害のある児童生徒に対する特別支援教育を推進します。

また、「信頼される学校づくり」を進めるため、各種研修を通して、教えるプロとしての教師の育成を図り、情報公開の推進や、保護者や地域住民から組織される学校評議員制度を有効に活用し、学校づくりを進められるよう支援します。

本町教育の大きな特色となっている情報教育については、高度情報化社会に生きる子どもたちに必要な、基礎的情報活用能力の育成を図る観点から、平成14年度に幌延情報教育センターを開設し、小中一貫した情報教育の推進のため理論研究を重ね、副読本作成や研究成果の授業への反映を目指し進めています。また、

児童生徒や、地域に向けた講座として一般向け講習会を開催するなど徐々に成果を上げています。

また、各学校のIT環境については、e-Just pan重点計画にのっとり、昨年度、高速インターネットに常時接続できる環境を整備しましたが、今年度は、学校のどの教室からでもインターネットに接続できるよう校内LANや普通教室等への機器の整備に努めます。

総合的な学習については、自然体験やボラン

ティア活動など、各学校において創意工夫し、特色ある教育活動を展開していますが、国際理解教育に関する学習の一環として、児童生徒が、直接ネイティブ・スピーカーから生きた言語を学ぶ機会を提供するため、留萌教育局の外国語指導助手の派遣協力を要請し、取り組んでまいります。

学校給食は、栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣の形成や、教職員と児童生徒のコミュニケーションや人間関係の育成の場として、心身の健全な発達を図る上で大きな教育的意義を有しています。開設以来、ドライシステムを有効に運用し、安全で良質な給食の提供に努めています。さらなる安全を図るため真空冷却機の導入を予定しています。児童生徒の多様な要望に応えるため、食事内容や給食環境の改善等、学校給食会